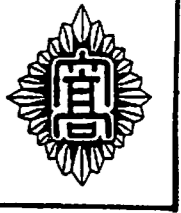


大村高校応援歌



● 巻頭言 ●

仰げば星斗爛熳として 永遠の心理を語る  
 頭を巡らせば多良岳遠くとして 我等若人の情熱をそそる  
 自然の恵み豊かなる 肥前の一隅 久原ヶ丘の麓 寺島のほとり  
 これぞ 我等 大村高校健児・淑女の地なり  
 いざや 唄わんかな 我等が熱血の歌 大村高校第一応援の歌を♪♪  
 三山緑り深うして ... seine, zwei, drei



● 第一応援歌 ●

一、山々緑深うして  
 紅落日に映ゆる時  
 燃えよ紫紺にうららかに  
 希望の天地琴の浦  
 友よ歌はん声高く  
 この西海に覇者たれと  
 この西海に覇者たれと

二、黒潮流れゆるやかに  
 八重の湖路の程遠く  
 久遠の春の幻を  
 現に画く喜びを  
 海の王者の大旗を  
 から紅に染むる色  
 から紅に染むる色

● 第二応援歌 ●

一、若き命を賭へつ  
 オールの音のわたつみに  
 響けば下に共鳴りて  
 黒がねの胸筋に  
 忍ぶとすれど血は燃えて  
 永久に進めと躍るかな

二、ひたぶる胸の高鳴りに  
 留め難きを如何にせん  
 さらば進めよ我が友よ  
 栄えある勝利のしるしなる  
 輝くこの日の照るところ  
 集ひていざや進めかし

● 第三応援歌 ●

一、翼を張れる大鷲の  
 行方を雲に慕ひつ  
 遥かに高き望みをば  
 胸に潜めて時を待つ  
 臥竜の夢はや覚めて  
 戦はんかな時到来

二、玖城原頭砂けむり  
 灼熱身を焼く夏の日も  
 大村海上波白く  
 寒風肌を刺す冬も  
 鍛へしかひな揮ふ時  
 鉄魂火あり響きあり

● 第四応援歌 ●

一、古き歴史を重ねきて  
 優勝の旗争わん  
 ひびきは高き必勝の  
 健児は集う 二十八  
 決意頼もし我がクル  
 ここに栄えあるポート部の

二、腕は鳴る鳴る琴の浦  
 若き血潮のゆくところ  
 我らが意気は\*赤色の  
 旗の印もそのままに  
 二、ころ玖島に咲く桜  
 若き多良岳 経が岳



● 大高四季の歌 ●

● 春が来たかよ 大高のお庭にさ 桜咲いた咲いた 捨て挺子しゃんしゃん  
 井鉢ゃ浮いた浮いた 捨て挺子しゃんしゃん

● 夏が来たかよ 大高のお庭にさ 虫飛んだ飛んだ 捨て挺子しゃんしゃん  
 井鉢ゃ浮いた浮いた 捨て挺子しゃんしゃん

● 秋が来たかよ 大高のお庭にさ 紅葉散った散った 捨て挺子しゃんしゃん  
 井鉢ゃ浮いた浮いた 捨て挺子しゃんしゃん

● 冬が来たかよ 大高のお庭にさ 雪が積んだ積んだ 捨て挺子しゃんしゃん  
 井鉢ゃ浮いた浮いた 捨て挺子しゃんしゃん

● シャンが来たかよ 大高のお庭にさ 窓が開いた開いた 捨て挺子しゃんしゃん  
 井鉢ゃ浮いた浮いた 捨て挺子しゃんしゃん

● 壮行歌 ●

一、みよ乾坤は巡りきて  
 男子一度立たん時  
 雄叫び狂う玖島城  
 若き血潮は火と燃ゆる

二、風雲逆巻き襲いきて  
 男子の脾肉を嘆せしか  
 正義の嵐すさぶ時  
 今ぞ暗れたり我が行手

● 三艇の賦 ●

一、島濃緑に風驚り  
 春っまんんの琴の浦  
 混濁の世を我捨てて  
 丘紅に花匂う

二、水は若葉の緑澄み  
 怪舟速く漕引けば  
 うつつの嵐夢と聞く  
 空は入日の茜雲

力限り漕ぎ行けば  
 星夜にしるし多良岳や  
 我が永久の光なれ

● 選手推戴歌 ●

一、行けやいざ我らが選手  
 \*大高健児 活殺の剣  
 存すなり 兄等が上に  
 玖城原に炎と燃えて

二、時は今熱血爆と  
 今年 豈堅子をしてまた  
 そのままに名を成さしめん

